

各位

2024年10月31日

サイバネットMBSE株式会社

SE/MBSE応用トレーニングコース刷新のお知らせ

サイバネットMBSE株式会社（本社：東京都墨田区、代表取締役社長：荒木 克文、以下「サイバネットMBSE」）は、SE/MBSE手法を用いてプロジェクト推進するために必要な設計情報構造体の構築指針となる方法論「サイバネットメソッド」を持っております。

今回、数多くの製造業向けプロジェクトで培ったノウハウ・知見を元にブラッシュアップを行いました。これにともない、題材・テキスト・構成等も刷新した新しい応用トレーニングコースとして2024年11月から提供開始します。

◆ SE/MBSEを活用するための実践に裏打ちされた開発方法論「サイバネットメソッド」

SE(Systems Engineering ※1)やMBSE(Model-Based Systems Engineering ※2)は元々米国の航空・宇宙など、極めて複雑でかつ大規模なシステム開発を効率よく開発するために生み出された開発手法であり、SysML※3という言語を用いたモデルが多く使用されます。

SysMLモデルにより、システムの要求分析から性能や機能設計、詳細設計などを関連づけて行えるだけでなく、設計した仕様に対する検証から製品化の後工程となる保守・運用に至るまでを一貫性を持って管理することが可能となります。

このようにSE/MBSEを上手く適用すれば、設計・製造工程の効率化を図ることが実証されています。一方、SysMLでモデルデータを「誰が」「どのような目的」「どのような形式で」利用するかを意識しないでモデル構築を行ってしまうと、利用価値の低いモデルになってしまうことも少なくありません。

結果として「SE/MBSEは使えない」「SysMLモデルを上手く構築できない」等でSE/MBSE推進を断念するケースもあります。

このような「使えないSysMLモデルデータ」を作らない為には、SE/MBSEの概念をしっかりと学び、現場で利活用できる情報構造体を構築するためのスキル獲得したうえで、SysMLモデルデータを作成することが不可欠です。

「サイバネットメソッド」は、これまでサイバネットMBSEが様々な業種のお客様（自動車OEM、サプライヤ、航空宇宙、電機・機械など）に対して実施したSE/MBSEプロジェクトで培ったノウハウを集約した開発方法論です。

◆ 受講される方のレベル、ニーズに合わせたコース選択が可能

お客様によって、SE/MBSEの習熟度合や、受講に割ける日数等が異なることを踏まえ、1日から最大5日までのコースを目的別に選択できるようにコース設計がされています。

コースに含まれるコンテンツとしては、①SEコンテンツ作成(1日)、②SEコンテンツ編集(1日)、③モデル作成(1

日)、④モデル編集(2日)があり、これらを組み合わせて全部で5つのコースからニーズや条件にあわせてコース選択することができます。

SEコンテンツ作成・編集では、単に講義を聞くのではなく、Excel/PowerPointを使って課題をSE視点でどのように分析・整理するか、手を動かしながらSEに必要な考え方を習得します。

モデル作成・編集にはSysMLモデリングツールとして広く利用されているダッソー・システムズ社のMagic Cyber Systems Engineer(CATIA Magic)/Cameo Systems Modeler(NoMagic)を使って、SEで検討したコンテンツのモデルツール上での取り扱い方法を、ハンズオン形式で学ぶことができます。

受講はオンラインでも、お客様オフィスでのオンサイトいずれでも実施が可能です。

コース中では、抽象的な概念の理解で終わらないよう、「自動運転タクシーシステム」をテーマとして具体的な内容を記述しながら学んでいくので、自らの課題への適用もイメージしやすくなっています。

詳細説明の依頼や、実施に向けてのご相談は弊社ホームページ (<https://www.cybernetmbse.co.jp/>) の製品紹介、問い合わせページ(<https://www.cybernetmbse.co.jp/contact/>)、または本件に関するお問い合わせ先よりご連絡ください。

◆ サイバネットMBSEが提供するMBSEソリューションの特長

サイバネットMBSEではサービスとソフトウェアの二本柱でお客様の設計開発業務を支援してまいります。お客様の開発プロセスに適した記述モデルの構築、計算モデルとの連携の仕組み、実務展開のためのツール導入およびSIサービスを提供します。

サービスでは、「サイバネットメソッド」と呼ばれる独自のメソドロジーを使って、SysMLモデルを使って実際の課題を解決していくためのコンサルティングサービスを提供しています。

ソフトウェア販売では、自社開発ソフトウェアである「MapleMBSE」、及びダッソー・システムズの国内正規代理店としてSysMLモデリングツール「[CATIA Magic](#)」「[No Magic](#)」を取り扱っております。

【注釈】

※1：システムの原則と概念、科学的、技術的、管理的手法を使用して、システムの実現、使用、廃止を成功させるための学際的かつ統合的なアプローチ

※2：要求、ふるまい、構造等を記述したモデルデータを使って、複雑なシステムをライフサイクルにわたって設計、統合、管理するシステムズ・エンジニアリング手法

※3：システムズ・エンジニアリングでシステム的设计、分析、検証等で用いられるモデリング言語のひとつ。統一的なモデリング言語といわれているUMLのサブセットを拡張している。

ダッソー・システムズについて

ダッソー・システムズは3DEXPERIENCEカンパニーとして、人々の進歩を促す役割を担います。当社は持続可能なイノベーションの実現に向けて、企業や人々が利用する3Dのバーチャル コラボレーション環境を提供し

ています。当該社のお客様は、3DEXPERIENCEプラットフォームとアプリケーションを使って現実世界のバーチャル ツイン エクスペリエンスを生み出し、さらなるイノベーション、学び、生産活動を追求しています。ダッソー・システムズ・グループは140カ国以上、あらゆる規模、業種の29万社以上のお客様に価値を提供します。より詳細な情報は、<http://www.3ds.com>（英語）、<http://www.3ds.com/ja>（日本語）をご参照ください。

3DEXPERIENCE、Compass アイコン、3DS ロゴ、CATIA、BIOVIA、GEOVIA、SOLIDWORKS、3DVIA、ENOVIA、NETVIBES、MEDIDATA、CENTRIC PLM、3DEXCITE、SIMULIA、DELMIA および IFWE は、アメリカ合衆国またはその他の国における、ダッソー・システムズ（ヴェルサイユ商業登記所に登録番号 B 322 306 440 で登録された、フランスにおける欧州会社）またはその子会社の登録商標または商標です。

本件に関するお問い合わせ先：サイバネットMBSE株式会社

■ 内容について

営業管理部/清水

E-MAIL：info@cybernetmbse.co.jp
